

民生委員・児童委員 各位

宮崎市長 清山 知憲
(公 印 省 略)

「わたしのひなん計画（個別避難計画）」作成にかかる
避難行動要支援者への文書送付について（情報提供）

日頃から地域福祉にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

宮崎市では、災害時に避難する際に支援が必要な方の情報をまとめた「避難行動要支援者名簿」を作成し、名簿に登載されている方々が災害時にスムーズに避難できるよう、「わたしのひなん計画（個別避難計画）」の作成を進めています。

そこで、下記のとおり、送付対象者へ「わたしのひなん計画」を作成していただくためのお願い文書を送付いたしますので、お知らせします。

つきましては、対象者の方から、文書の内容についてお問い合わせがありましたら、計画作成をお勧めいただきますようお願いいたします。

災害への備えと地域の支え合いは、大きな力となります。今後とも、避難行動要支援者の方々の避難支援にご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 送付対象者: 避難行動要支援者名簿に登載されている方々の中で、優先度の高い方(※)以外の方々のうち、
 - ① R7年3月末までに個別避難計画を作成していない方: 約3,500人
(作成しない旨の意思表示があった方を除く)
 - ② R7年度に新たに避難行動要支援者名簿に登載された方: 約1,400人
2. 発送日 : 令和7年9月30日(火)
3. 送付文書 : 避難行動要支援者の方へお送りする文書(3枚)

※優先度の高い方(特に支援が必要な避難行動要支援者)については、福祉専門職が計画作成のお手伝いをします。

【お問い合わせ先】
福祉部福祉総務課福祉防災係
電話: 21-1754

避難行動要支援者の皆様へ
(封筒の宛名の方)

(参考) 発送文書

宮崎市長 清山 知憲
(公印省略)

「わたしのひなん計画」(個別避難計画)の作成について(お願い)

最近、地震や台風などの大きな災害が増えており、高齢者や障がい者など、自分1人では避難が難しい方々(避難行動要支援者)が大きな被害を受けています。

そのため、宮崎市では、そのような方々の命を守るため「わたしのひなん計画」の作成に取り組んでいます。「わたしのひなん計画」を作成することで、災害のときに、

○どのように行動するか。 ○どの道を通って、どこに避難するか。

○誰に避難を手伝ってもらうか。 ○どのようなことに配慮してほしいか。

等をあらかじめ、決めておくことができます。

災害時に慌てることなく行動できるよう、この機会にぜひ計画を作成しましょう。

(同封している計画書を作成して、宮崎市に提出してください。)

記入例もあわせてお送りしていますので、作成の参考にしてください。



～ 知っておいてほしいこと ～

- ◆「わたしのひなん計画」の作成はあなたやあなたの家族の了解のもとに任意で作成するものです。作成しない場合は「わたしのひなん計画を作成しません」にチェックを入れ、署名欄に氏名を書いて返送してください。
- ◆作成された「わたしのひなん計画」は、自治会や民生委員などの地域で避難のお手伝いをしてくれる人たちへ、平常時から共有し、災害情報のお知らせや避難のお手伝いに役立てます。
- ◆避難の方法を考えるためには、自分の住んでいる場所・自宅が、災害時にどの程度危険なのかを理解する必要があります。冊子版ハザードマップや防災情報アプリ「Hazardon (ハザードン)」を利用して、自宅の危険度を確認しましょう。

Hazardon (ハザードン) はこちら (市HP) ▶



【問い合わせ先】

宮崎市 福祉総務課 福祉防災係

☎電話：0985-21-1754

記入例

- ◆ 「わたしのひなん計画」は、避難を手伝ってくれる方や地域の方と共有します。また、計画に記載された個人情報、大切に扱われます。
- ◆ 計画を作成することにより、災害が起きた際に避難の手助けが受けやすくなります。避難を手伝ってくれる方や地域の関係者の被災により、避難支援ができない場合があります。

上記のことを確認し、①・② のどちらかにチェックを入れてください。

令和 年 月 日

宮崎市長 宛

① ☒ わたしのひなん計画の作成
および共有に同意します

② ☐ わたしのひなん計画を作成しません
「署名欄」を記入し、宮崎市へ提出してください

↓ ①を選んだ方は、以下のどちらかにチェックを入れてください

☒ 自分（家族）で作成します ⇒ この計画用紙を作成して、宮崎市に提出してください

☐ 地域の方に作成の支援をお願いします ⇒ 氏名・住所・電話番号を記入して宮崎市に提出してください

↑ 「書き方がわからない」「どこに避難したらよいかわからない」という方はこちらに☑してください

署名	本人 (必ず記入)	宮崎 太郎	代理人	宮崎 花子 (続柄 妻)
----	--------------	-------	-----	--------------

本人が自筆できない場合や判断が困難な場合は代理人が、本人および代理人欄の両方を記入ください。

わたしの情報 (誰が)	フリガナ	みやざき たろう			性別	男	生年	平成 年 月 日	令和 年 月 日
	氏 名	宮崎 太郎			生年	月 日	20 年 月 1 日	(80 歳)	
	住 所	宮崎市 橘通西1丁目1番地				電話番号	080-0000-0000		
	同居 している人	☒ あり (1) 人 → ☐ いつもいる ☒ いない時間がある (日中・夜間) ☐ なし (ひとり暮らし)							
	該当要件	☐ 要介護 ☒ 身体障がい ☐ 知的障がい ☐ 精神障がい ☐ 難病 ☐ その他 ()							
	身体の状況や 災害時の困りごと	☒ 立つことや歩くことが不安 ⇒ (☐ 短距離なら歩ける ☒ 車いす使用 ☐ 杖使用) ☒ 耳が聞こえない・聞こえにくい ⇒ (☒ ゆっくり話せば聞こえる ☐ 筆談 ☐ 手話) ☐ 目が見えない・見えにくい ☐ 話すことが難しい ☐ 言葉や文字の理解が難しい ☐ 寝たきり ☐ その他 ()							
	緊急連絡先	①	氏 名	宮崎 花子 (続柄 妻)		電話番号	090-0000-0000 0985-00-0000		
			住 所	同 上					
		②	氏 名	宮崎 一郎 (続柄 長男)		電話番号	080-0000-0000		
			住 所	大分県 〇〇市 〇〇 〇丁目〇番地〇					
ケアマネジャー 相談支援専門員	事業所名: ケアプラン△△		担当者: 〇〇 ×子		連絡先	0985-00-0000 080-0000-0000			
利用中の 介護・福祉・医療 サービス	デイサービス		事業所名		〇〇デイサービス				
	ショートステイ		事業所名		××ホーム				

< 裏面につづきます >

自宅・住んでいる場所の危険度をチェックし、避難の方法を決めましょう！
□にチェックをつけてください。

自宅は…☒ 一戸建て住宅（ 1 階建て）☐ 集合住宅（ 階）

住んでいる場所は安全である。
（ハザードマップ上の危険区域ではない）

はい

☐ 在宅避難も可能

いいえ

ハザードの種類は…
☒ 浸水想定区域
☐ 土砂災害警戒区域
☐ 津波浸水区域

自宅は…
☐ 建物が頑丈
☐ 浸水深より高い

いずれかに
当てはまる

建物内で
垂直避難が
可能である。

はい

☐ 垂直避難も可能

いいえ

☒ 安全な場所へ
避難が必要

いずれにも当てはまらない

どこへ

大雨・洪水
のとき

避難
場所

☐ 自宅に待機（在宅避難）☐ 家族・知人の家（どなたのお宅ですか： ）
☒ 避難所（避難所名： **宮崎小学校** ）
☐ ホテルなど☐ その他（ ）

地震・津波
のとき

避難
場所

☒ 自宅に待機（在宅避難）☐ 家族・知人の家（どなたのお宅ですか： ）
☐ 避難所（避難所名： ）
☐ ホテルなど☐ その他（ ）

だれと

避難支援者の情報は、地域の関係者へ提供されますので、必ず避難支援者本人の同意を得てから記載してください。

①

氏名

宮崎 花子（続柄 妻）

電話番号

090-0000-0000
0985-△△-0000

②

氏名

（続柄 ）

電話番号

どのように

避難のときに通る道

避難先までの経路を決めておきましょう。

※歩道の段差に注意する

県庁前を通る

避難所
宮崎小学校

用水路を避ける

自宅

避難のときに手伝って欲しいこと

☒ 災害情報を伝えてもらう
☒ 声掛けをしてもらう
☐ 一緒に避難先に行く
☐ その他の支援
()

その他

避難を手伝ってくれる方へ伝えておきたいことを書きましょう。

・逃げる際は大きな声で呼びかけをして欲しい。
・荷物が多いので、一緒に持ち出して欲しい。

かかりつけ病院

〇〇 病院

連絡先

0985-〇〇-〇〇〇〇

民生委員

〇〇 海子

自治会名

☒ 加入（ 〇〇 自治会）
☐ 未加入

- ◆ 「わたしのひなん計画」は、避難を手伝ってくれる方や地域の関係者（自治会や民生委員・児童委員等）へ共有します。また、計画に記載された個人情報、大切に管理します。
- ◆ 計画を作成することにより、災害が起きた際に避難の手助けをすることを約束するものではありません。避難を手伝ってくれる方や地域の関係者の被災により、避難支援ができない場合があります。

上記のことを確認し、①・② のどちらかにチェックを入れてください。

令和 年 月 日

宮崎市長 宛

① ☐ わたしのひなん計画の作成
および共有に同意します

② ☐ わたしのひなん計画を作成しません
「署名欄」を記入し、宮崎市へ提出してください



①を選んだ方は、以下のどちらかにチェックを入れてください

☐ 自分（家族）で作成します ⇒ この計画用紙を作成して、宮崎市に提出してください

☐ 地域の方に作成の支援をお願いします ⇒ 氏名・住所・電話番号を記入して宮崎市に提出してください

↑「書き方がわからない」「どこに避難したらよいかわからない」という方はこちらに☑してください

署名	本人 (必ず記入)	代理人	(続柄)
----	--------------	-----	------

本人が自筆できない場合や判断が困難な場合は代理人が、本人および代理人欄の両方をご記入ください。

わたしの情報（誰が）	フリガナ			性別	生年 月 日	□大正 □昭和 □平成 □令和
	氏名					田 (歳)
	住所	宮崎市			電話番号	
	同居 している人	□あり ()人 → □いつもいる □いない時間がある (日中・夜間) □なし (ひとり暮らし)				
	該当要件	□要介護 □身体障がい □知的障がい □精神障がい □難病 □その他 ()				
	身体の状況や 災害時の困りごと	□立つことや歩くことが不安 ⇒ (□短距離なら歩ける □車いす使用 □杖使用) □耳が聞こえない・聞こえにくい ⇒ (□ゆっくり話せば聞こえる □筆談 □手話) □目が見えない・見えにくい □話すことが難しい □言葉や文字の理解が難しい □寝たきり □その他 ()				
	緊急連絡先	①	氏名	(続柄)	電話番号	
			住所			
	緊急連絡先	②	氏名	(続柄)	電話番号	
			住所			
ケアマネジャー 相談支援専門員	事業所名： 担当者：		連絡先			
利用中の 介護・福祉・医療 サービス			事業所名			
			事業所名			

< 裏面につづきます >

自宅の状況	自宅・住んでいる場所の危険度をチェックし、避難の方法を決めましょう！ □にチェックをつけてください。			
	自宅は・・・ ☐ 一戸建て住宅（階建て） ☐ 集合住宅（階）			
	住んでいる場所は安全である。 (ハザードマップ上の危険区域ではない) はい			☐ 在宅避難も可能
	いいえ ハザードの種類は・・・ ☐ 浸水想定区域 ☐ 土砂災害警戒区域 ☐ 津波浸水区域 自宅は・・・ ☐ 建物が頑丈 ☐ 浸水深より高い いずれかに当てはまる 建物内で垂直避難が可能である。 はい いいえ 安全な場所へ避難が必要 いずれにも当てはまらない			
どこへ	大雨・洪水のとき	避難場所	☐ 自宅に待機（在宅避難） ☐ 避難所（避難所名：） ☐ ホテルなど ☐ その他（）	
	地震・津波のとき	避難場所	☐ 自宅に待機（在宅避難） ☐ 避難所（避難所名：） ☐ ホテルなど ☐ その他（）	
だれと	避難支援者の情報は、地域の関係者へ提供されますので、必ず避難支援者本人の同意を得てから記載してください。			
	①	氏名	電話番号	
どのように	②	氏名	電話番号	
	避難のときに通る道		避難のときに手伝って欲しいこと	
その他	避難先までの経路を決めておきましょう。		☐ 災害情報を伝えてもらう ☐ 声掛けをしてもらう ☐ 一緒に避難先に行く ☐ その他の支援 ()	
	避難を手伝ってくれる方へ伝えておきたいことを書きましょう。			
その他	かかりつけ病院		連絡先	
	民生委員		自治会名	☐ 加入（自治会） ☐ 未加入